



令和 8年 9月 30日

🏠 だより 10月号

江戸川区立新堀小学校

校長 地平 憲司

<http://edogawa.schoolweb.ne.jp/niihori-e/>



実り多き秋の始まりに

校長 地平 憲司

爽やかな秋風とともに、新堀小学校の2学期が本格的にスタートしました。

子供たちの元気な挨拶が校舎に戻り、学校中に活気が満ちあふれています。

そして、夏休みが明けて早々に大きな行事や記念すべき取組が次々に行われました。子供たちが主体的に動き、汗を流し、目を輝かせて学び合う姿は、まさに本校の誇りです。今回は、その新堀らしい様子を皆様にご紹介いたします。

一、開校45周年記念集会と「新堀ファミリー」の絆

本校は今年度、記念すべき開校45周年を迎えることができました。これを記念して開催された記念集会では、子供たちの豊かな学びと学校への愛着が存分に発揮されました。

特に印象的だったのは、本年度「学びのユニバーサル・デザイン推進校」として研究を重ねてきた3年生による発表です。子供たちは「総合的な学習の時間」などを通じて、私たちが暮らす新堀小学校や地域の成り立ちについて探究しました。一人ひとりの特性や持ち味を活かしながら、全員が分かりやすく、工夫を凝らして堂々と発表する姿は実に素晴らしく、全校児童や参観された方々に大きな感動を与えてくれました。

そして、この記念すべき集会のハイライトとなったのが、新しいキャッチフレーズ「新堀ファミリー横断幕」のお披露目です。学校全体が一つの温かい家族であるという絆を象徴するこの横断幕は、各クラス記念写真を撮影後、体育館に常掲することになっています。今後、子供たちが集うあらゆる場面で、私たちを優しく見守り、一体感を育んでくれることと確信しています。

二、笑顔と活気があふれた「新堀まつり」

2年生以上の子供たちが中心となって企画・運営した「新堀まつり(子供縁日)」も、大盛況のうちに幕を閉じました。準備の段階から、子供たちは「どうすればみんなに楽しんでもらえるか」「上手に運営するにはどうすればよいか」を主体的に話し合い、協力し合って当日を迎えました。当日は会場となった学校全体が、子供たちの工夫を凝らしたお店やアトラクションで埋め尽くされ、たくさんの笑顔と歓声が弾けました。

多くの保護者の皆様にもご来校いただき、子供たちの生き生きとした姿を温かく見守っていただきました。地域の皆様や保護者の皆様の声援が、子供たちの大きな自信につながったことと思います。この素晴らしいエネルギーと自主・自立・自治の精神を来年度以降もしっかりと引き継ぎ、継続していく方針です。

三、社会への視野を広げる6年生の国会見学

最高学年である6年生は、先日、国会見学に行っていました。日本の政治の中枢である国会議事堂を実際に自分の目で見て、肌で感じることは、机上の学習だけでは得難い経験です。現代社会において、政治や社会の仕組みに関心をもつことは極めて大切です。これからの「予測困難な社会を生き抜く子供たち」には、ただ情報を知るだけでなく、自ら考え、判断する力、すなわち主権者としての意識をしっかりと育てていきたいと考えています。本物の政治の場に触れた6年生たちが、今回の経験をもち帰り、今後の学校生活や社会科の学習でどのように思考を深め、下級生によき手本を示してくれるのか、今からとても楽しみです。

45年の歴史の重みを感じつつ、本校は「新堀ファミリー」の合言葉のもと、新たな一步を踏み出しています。子供たちが主体的に挑戦し、互いを認め合いながら成長していく姿は、未来への希望です。学校、家庭、そして地域がしっかりと手を取り合い、子供たちの可能性をどこまでも伸ばしていけるよう、教職員一同、力を尽くしてまいりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

※ 本校の卒業生である大相撲・藤ノ川関も、新関脇で見事「11勝4敗・3大関撃破・敢闘賞」でした！